

△ えなか 便り

大丈夫

日本人の寿命が延びて近いうちに平均寿命が100歳に届くとか、老後資金が2000万円必要とか喧騒されている。私の家系は曾祖父が文久元年生まれで92歳、明治生まれの祖母は96歳と長生きで、昭和生まれの私は82歳で100までにあと18年。このまま元気で大丈夫よね。

(名華文)

学生の頃、大丈夫という言葉に何度か助けられた記憶がある。近年はさまざまな状況に使われ、違和感を感じる事が多々ある。だから私は不安を抱えている人の背中を押してあげる時にいつてあげたい。私がそうしてもらったように。(しばP)

病に伏した日があった。理不尽な仕打ちに涙した日もあった。悲しい別れもあった。さまざまな体験が重なってへこむ私に「大丈夫!大丈夫!あなたならきっと大丈夫!」とそっと声をかけられた。あの時の「大丈夫」の声があって今日がある。感謝!

(すみちゃん)

「大丈夫 大丈夫」という言葉をよく使う。自分でも「何が大丈夫なんだろう?」

△ハモン博士のまとめ

『大丈夫』という言葉は、英語すると20通り以上の表現になるようじゃ。それを日本語では場面やニュアンスで上手く使い分けておる。なので「大丈夫」と言う方も、いわれた方も、その言葉が発せられる状況や背景から「大丈夫」の言葉の中に含まれる機微を感じとる必要がある。便利だが、難しい日本語の奥深さを感じさせる言葉じゃな。



問合せ

大口町NPO登録団体ハモン
☎95-1691

「まだ大丈夫」と高を括っているうちに、気付けば手遅れの状態に…。自分で自分に投げかける大丈夫は注意が必要。仕事も健康も人間関係も、その「大丈夫」は本当に大丈夫?

(俺)

と思いつつ口にする。よく「根拠のない大丈夫はどコワいものはない。」なんて言われるけど、誰かが「大丈夫」といわなければいけない時がある。その「大丈夫」に一番後押しされているのは自分なのかも。私にとってはやる気スイッチを押す魔法の言葉。

(チャーミー)



No.56



Be Ambitious

vol.317

町内にお住まいの
20代の皆さんがリレーで登場!

やる気があれば何でもできる!

大島 彩里さん(さつきヶ丘) H12・1月生



言葉を越えたつながり

「英語」私が初めて語学留学でアメリカに行った時、満面の笑みでこういつて出迎えてくれたホストマザーが印象的で、海外に行きいろいろ文化に触れることが大好きになりました。私は元々積極的な動く方ではありませんが、大学でフランス語と英語を勉強している中で、現地の人とコミュニケーションをとる自分の目で見て学ぶのが面白く、留学の翌年にはニューヨークへの一人旅に挑戦しました。テロリストと勘違いされて警察官に囲まれてしまったりなど、信じられない失敗ばかりで両親には心配をかけていますが、言葉を越えてお互いの文化で共感できた時には温かいものを感じます。留学での

一番の財産は、日本に帰っても連絡を取り続ける外国の友だちができたこと。メールでフランスの友だちと日本の漫画の話をしたり、お互いに言葉を教えあったりと、このつながりが語学を勉強する一番の原動力になっています。

今だからこそできること

今年はコロナの影響で大学の授業も中止。最初はマイナスに感じていましたが、この状況をいい方向に活かすべきだと思い、日本在住の外国の方向けの日本語オンライン教室のボランティアに参加することになりました。この時期だからこそできることに目を向け、いろいろなことに挑戦していきたいと思っています。



▲フランス留学中には台湾の友だちとモンサンミッシェルに行きました!